

れが谷を埋めて洪水となり、水深8尺、死者数を知らずという。

16. 元禄15年8月29日(1702Ⅹ20)

九州中国から東北地方に及ぶ暴風雨。福岡では50年来の暴風雨、朝倉郡では百年来の洪水、倒壊家屋 11,893, 倒木 18,300。

17. 正徳3年7月13日(1713Ⅷ23)

西日本暴風雨、高潮。以前の高潮(9のこと)から64年ぶり。柳河では堤防決壊箇所 63, 浸水家屋 5,773, 溺死者 349, この年は7月3日にも近畿地方におよぶ大暴風雨があった。

18. 享保14年9月14日(1729Ⅹ6)

関西以西暴風雨。筑後国では本年最大の暴風雨、豊後国鶴見岳山潮。この年は8月4日, 8月19日にも暴風雨があった。

19. 延享1年8月10日(1744Ⅹ16)

九州, 四国から東北地方に至るまで暴風雨。日向国佐土原に倒壊家屋 300。

20. 寛延1年9月2日(1748Ⅹ24)

九州, 中国, 四国から北海道に及ぶ大暴風雨, 肥後国では“岩起し”という風が吹き, 50年来(15のこと?)の暴風であった。

21. 宝暦5年8月24日(1755Ⅹ29)

九州, 中国, 四国にわたる暴風雨で, 筑前国では前代末聞の暴風となり, 肥後国でも赤松の大木が根元から倒れた。

22. 宝暦12年8月8日(1762Ⅹ25)

九州から山陰にかけて暴風雨で, 鳥取では享保14年来(18のこと)の洪水であった。秋月藩では倒壊家屋100, 倒木 4,550。この年は7月5日, 7月13日にも大暴風雨があった。

23. 文政11年8月9日(1828Ⅹ27)

九州, 中国は暴風雨, 高潮で“子の大風”という延享3年(該当するものがわからない), 宝暦5年(21のこと)の大風もこれほどではなかった。久留米領内の倒壊家屋 6,338, 死者 102。この年は6月17日, 7月2日, 8月24日にも大暴風雨があった。

24. 天保11年6月9日(1840Ⅶ7)

九州, 中国暴風雨, 高潮, 洪水, 山潮, 前代末聞にて, 子の大風にも劣らぬ。肥前, 肥後国の死者 11,000, この年は8月4日にも大暴風雨があった。

25. 嘉永3年7月11日(1850Ⅷ18)

九州, 中国暴風雨。豊前国では文政以来(23のこと)の大風。秋月藩で倒壊家屋 459。この年は8月7日にも九州から中部地方にわたる大暴風雨があった。

26. 明治7年8月27日(1874Ⅷ27)

九州暴風雨, 高潮, “子の大風”に劣らぬ暴風で, 福岡県倒壊家屋 18,902, 死者 780。

27. 明治24年9月14日(1891Ⅹ14)

台風は長崎に上陸し, 佐賀, 福岡をへて日本海に出る。“子の大風”に劣らぬといわれたが, 佐賀の最低気圧 960mb, 最大風速 NE 14.1m/s, 日最大雨量 125.3mm。

気象の英語(12)

有住直介

14. valley, canyon など

谷に相当する米語の主なもの, valley と canyon の2つである。この2つの語を A.C.D. で引くと

canyon=a deep valley with steep sides, often with a stream flowing through it.

valley=① an elongated depression, usually with an outlet, between uplands, hills, or mountains, esp. one following the course of a stream.

② the extensive, more or less flat, and relatively low region drained by a great river system.

したがって川の両岸が急傾斜になっているものが canyon で, Grand Canyon などはその例である。valley

の方はどちらかと云えば, 規模の大きなもので(小規模な場合には a small valley という), 山と山との間の低い所つまり谷間を指し, 時には valley の中に大きな都市がいくつも入る。the Mississippi Valley はその最も大きい例である。このように大きな valley では, 日本の“谷”の概念とは随分はずれ, 日本語の“流域”に相当する。

valley と同語原の vale (=谷間), および dale (=谷間) は, とともに詩以外ではめったに使われない。

canyon に近いものにはこの他に, ravine, gorge, gully がある。これらはいずれも流れによってけずられた深い谷である。